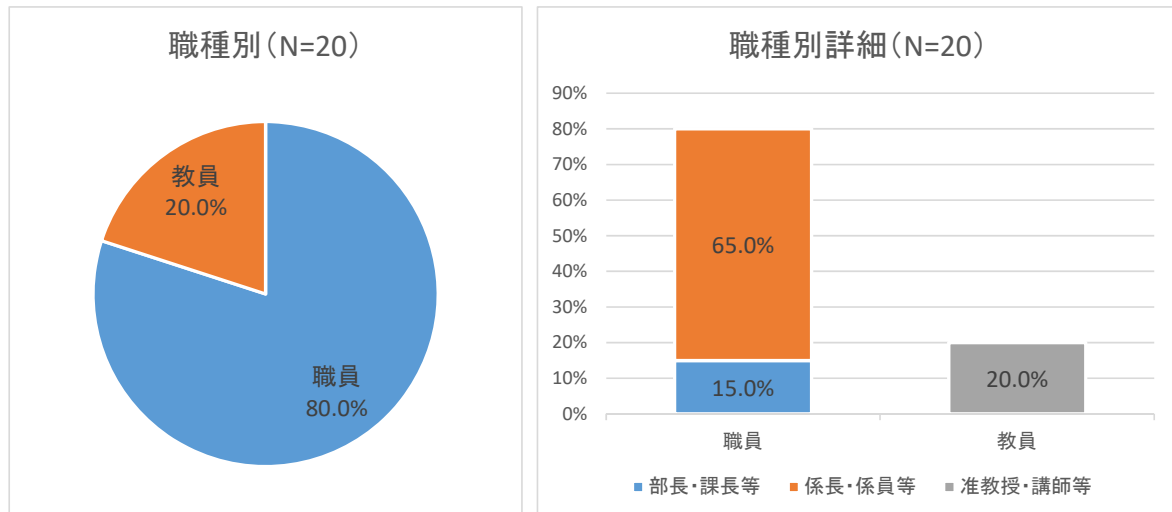


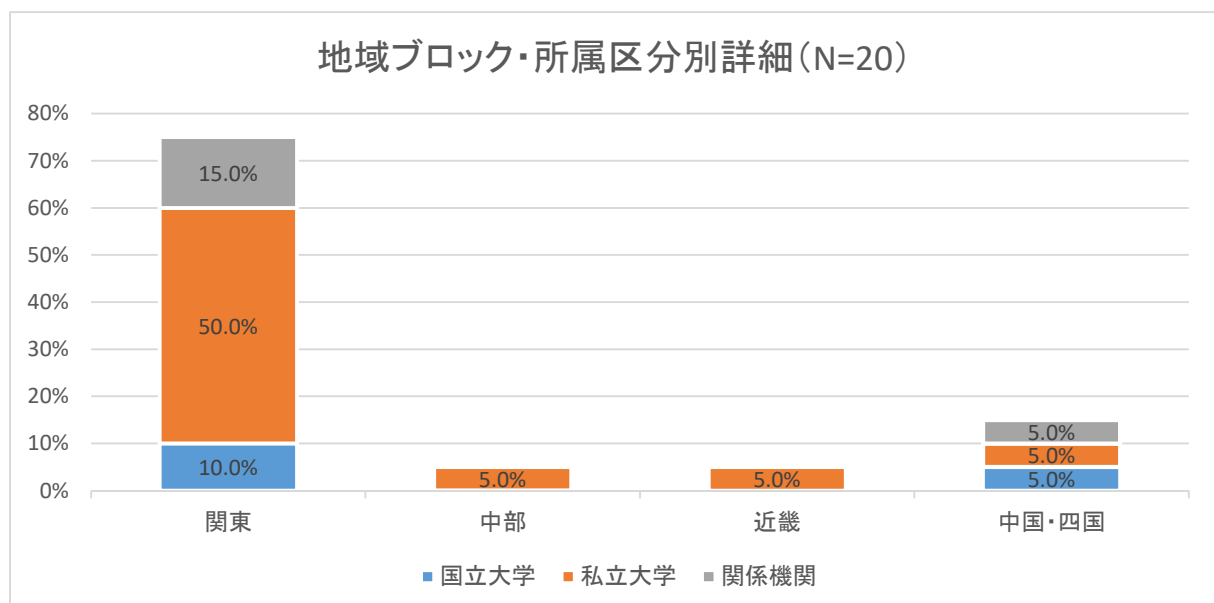
○ 参加者について

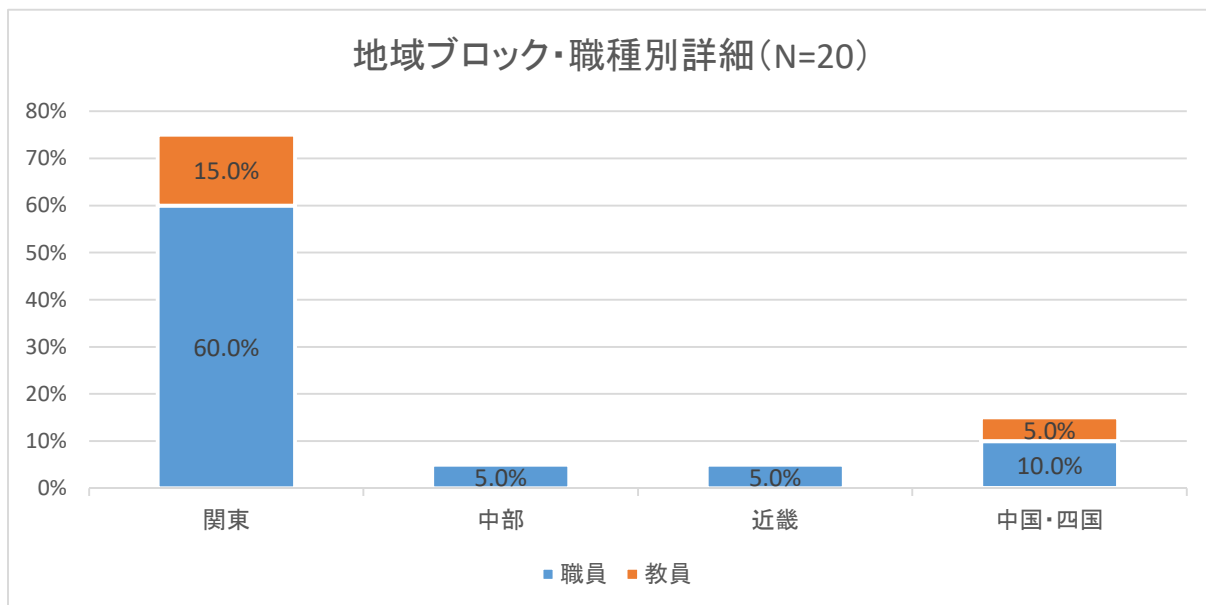
平成 28 年度第 1 回 IR 初級人材研修会（パイロット事業）の入門編には、20 名の教職員等が参加しました。各参加者が申し込み時に申請した所属・職種等の情報を基に、参加者の属性分析を行いました。



職種別の参加者比率は、職員が 80.0%、教員が 20.0% でした。また、職員の職層を「部長・課長等」及び「係長・係員等」、教員の職層を「教授等」及び「准教授・講師等」に分けて示します。職員の係長・係員等が 65.0% と最も多く、次が教員の准教授・講師等で 20.0% でした。事前に集めた質問等によると、IR 実務担当者でも、初めて IR 部署等に配置されて何かから手を付けて良いのかお困りの方、個別の IR 業務は行っているものの組織としての活動を模索している方等が参加していました。

所属区分別では、私立大学が全体の 65.0% を占めており、特に関東地区の私立大学が 50.0% と





最も多く、次が関東地区の関係機関が 15.0%でした。また、地域ブロック別では、関東地区が全体の 75.0%を占めており、特に関東地区の職員が 60.0%と最も多く、次が関東地区の教員が 15.0%でした。

近年、大学における IR 部署等の設置が増えていることも影響し、新たに IR を設置した私立大学の担当者、IR 活動に関する部署の実務者等となった私立大学職員の方が多く参加されていました。また、関東地区の参加者が多かった要因として、今回は本研修会の周知期間が短かったため遠方からの参加が困難だった点、会場が東京都内であったため近郊の方々は参加しやすかった点等が考えられます。

(大野 [鳥取大])

■区分表（共通）

地域ブロック	説明
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県
中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
その他	米国

職種	職種区分	説明
職員	部長・課長等	部長、課長、課長補佐、副課長、専門員、グループ長、グループリーダー、総括主査、事務長、室長、次長、部長、参事、副参事、など
	係長・係員等	係長、主任、主査、主事、専門職員、課員、係員、チーム員、職員、スタッフ、所員、特任研究員、など
教員	教授等	学長、副学長、学長補佐、部局長、教授、など
	准教授・講師等	准教授、講師、助教、など